

# 超小型筐体HUD

開発中

2027年搭載予定

表示サイズは従来品と同等で筐体の小型化を実現  
従来品では難しかった小型車両への搭載が可能

## 背景・課題

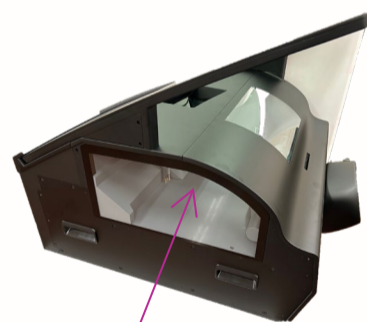
小型車両では搭載スペースが限られており、従来のHUDでは筐体が大きく搭載が困難  
筐体の小型化に伴って、表示サイズも縮小

## 課題への解決・特徴

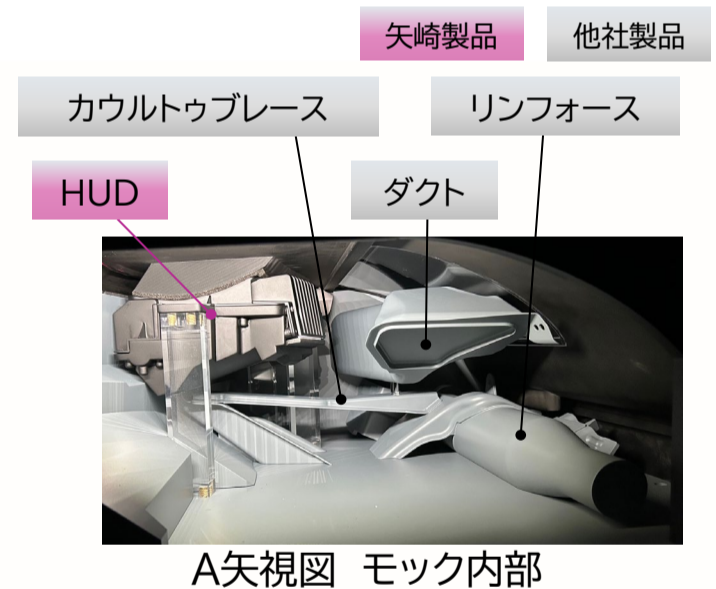
- 1 LEDチップ数を増やし、面光源とすることで表示ユニットの薄型化を実現
- 2 LEDチップ個当たりの出力を抑えることでヒートシンクを廃止
- 3 折返しミラーレスと非球面ミラーの高倍率化により光路を短縮し筐体を小型化

### 主要性能, 仕様・構造

- ・表示サイズ: 240X90mm
- ・視距離: 2m
- ・虚像表示輝度: 13,000cd/m<sup>2</sup>
- ・筐体体積: 2.5L以下(従来比50%削減)
- ・重量: 1,000g以下(従来比50%削減)

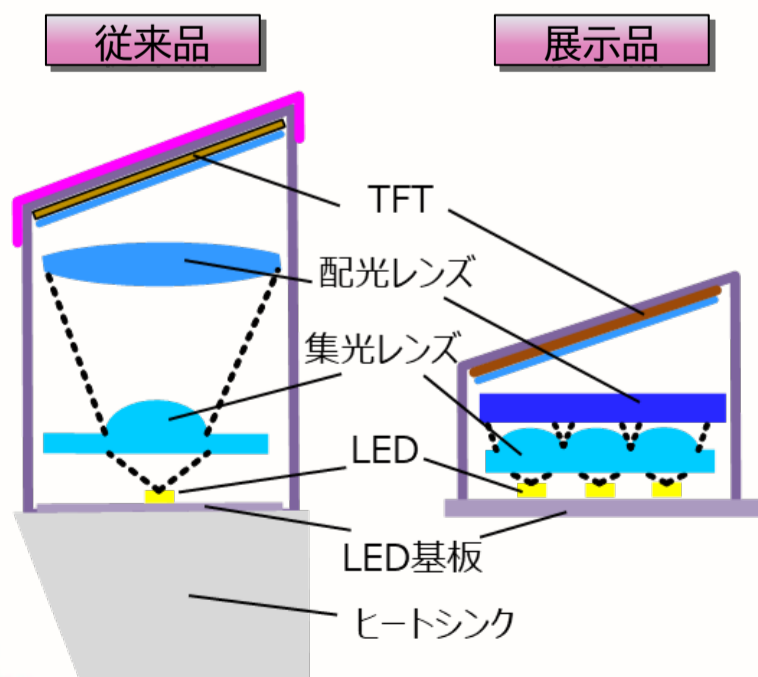


A視



A矢視図 モック内部

### ◆ヒートシンクレス表示ユニット



### ◆折り返しミラーレス

